

城南保健生活協同組合 第40回 通常総代会議案 第1号議案 2014年度活動のまとめ(案)

はじめに

国民の声に耳を閉ざして暴走する安倍政権の動きが強まっています。原発推進、集団的自衛権の行使容認、秘密保護法、沖縄米軍新基地建設、TPP(環太平洋連携協定)、農業・農協解体、社会保障改悪、消費税増税、憲法改悪、雇用・労働法制改悪など、どれをとっても城南保健生協の方針の柱として掲げている「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」に相容れないものです。

2014年度、城南保健生協は総代会で確認した「闘いの年」の位置づけをしっかりと持ち、多くの分野の団体・個人とも連帯し、国会行動への参加、パレード、署名行動、宣伝行動(理事会前宣伝行動は毎月)を行ってきました。

城南保健生協は、安倍政権の行おうとしている戦争する国づくりを許さず、人権としての社会保障をめざす運動を引き続き広げていきます。

2014年度活動の特徴

(1) 3年連続、仲間増やし目標「700人達成!!」

- 最後まで目標達成をあきらめない「みんなの力」で、700人の仲間が増えました。
- 3月、年度末月間では1カ月で192人の仲間を増やしました。
- 15支部中10支部が年間目標を達成しました。
- 10月から12月の月間中の取り組みでは課題があるものの、3年連続の達成は大きな自信となり、今後ますます、飛躍するためのステップとなります。

(2) 「よろず相談」が更に拡大・充実しました

- 大森中診療所で行っている「よろず相談」は深刻な不況の影響もあり、毎月25～30件ほどの相談があります。
- 月曜から土曜までの週6日の相談体制を確立して生活相談、医療・介護の悩み、労災問題など幅広く対応してきました。

城南三法人(城南福祉医療協会、城南医療保健協働、城南保健生協) 2015年4月1日(木)
2014年度 仲間ふやし月間ニュース No.88
3/1～3/31まで年度末 目標達成月間です

達成号!! 3年連続仲間増やし目標
700人達成!! 祝

支部名	年間目標	12月までの実績	1月増	2月増	3月増	累計	目標差	到達%
西品川	60	41	2	17	60	0	100	
品川	5	1	2	11	14	-9	280	
海老八草	20	22	3	25	25	-5	125	
豊	75	59	6	7	11	83	-8	111
大井	10	5	2	2	3	12	-2	120
中延原の台	40	16	1	7	24	16	60	
馬込山王	10	4	2	2	6	4	60	
大森	75	36	4	2	28	70	5	93
羽田駅前	10	4	4	4	6	4	6	40
蒲田西	5	2	3	1	6	-1	120	
馬込山王	30	19	3	10	32	-2	107	
中央南上	10	10	1	2	13	-3	130	
鶴木常谷	70	43	1	10	24	78	-8	111
大森東	220	139	10	7	50	206	14	94
大森西北	60	27	7	6	27	67	7	112
合計	700	428	34	46	192	700	0	100

- 東京南部法律事務所の弁護士による「法律相談」は相談者も多く月3回行っています。
- 2013年10月からはじまったゆたか診療所での「よろず相談」は、週2回の相談と月1回の五反田法律事務所の弁護士による「法律相談」を月2回とし、更に充実したのになってきました。ゆたか診療所3階で行っています。
- 大田社保協などの「街頭相談会」からよろず相談につながるなど、各団体との連携が広がりました。
- 民医連や医療福祉生協連の交流集会等で、城南保健生協のよろず相談の取り組みを発表し、「ぜひうちでも」と他の法人にも広がりがつつあります

(3) 介護職員初任者研修(旧ヘルパ― 2級養成講座)開催しました

- 全国的に介護職員確保が厳しい状況の中、独自で初任者研修を開催しました。
- 3期開催し、20人が修了。うち10人が城南関係の事業所で働いています。
- 受講者は「城南の保健をみて」「ホームページをみて」という方が多かったのが特徴です。
- 2015年度も行っています。

(4) 引き続きの健康づくりの取り組みも前進しました

- 第5回となった「駅伝フェスティバル」は年々参加チームも増えてきました。今回は27チーム108人(過去最多)がタスキをつなぎました。
- 各地域での青空健康相談会も積極的に取り組みました。
- わくわくヘルスチャレンジや保健教室、健康サポーター養成講座、だれでもできる健康体操教室など組合員さんの参加できる取り組みも行ってきました。



介護職員初任者研修では20人が修了



駅伝フェスティバルに27チーム108人が参加



みんなで品川音頭(品川健康まつり)

- 今年度からスタートさせた「脳いきいき班会」は、8月に班会を行うための「インストラクター養成講座」を行い、準備から力を入れてきました。楽しい要素が盛りだくさんの中身になっており3カ所で開催しています。ますます広がっていきましょう。
- うき雪谷支部では診療所所長、師長も入り「健康お食事班会」を立ち上げ地域の組合員さんに好評を得ています。

(5) 誰もが参加できるイベントも活発に開催

- 第30回大田・品川健康まつりは4,000人の参加で大きく成功しました。
- バスハイク(春バス5台、秋バス2台)、ウォークラリーも引き続き取り組んできました。
- 第3回城南文化祭は114人の方に参加していただきました。班活動の日頃の成果を発表する場としても好評です。
- 品川地域で実行委員会をつくり行ってきた「品川健康まつり」は12回目となりました。

(6) 国会行動への参加、パレード、署名宣伝行動、支援活動

- 原発ゼロ国会包囲行動をはじめ、いのちとくらしを守るためのさまざまな行動に参加しました。
- 毎月の理事会前宣伝行動は17:30～18:15まで蒲田駅東口で社会保障制度改悪反対を中心に行ってきました。
- 品川、大田の原発ゼロパレード、憲法9条守れパレードなど積極的に参加してきました。
- 本部職員が岩手県宮古市、いわて生協の復興支援ボランティアで「ふれあいサロン」を訪れ、体操や手芸を行いました。

(7) 「支部の力」を強める取り組み

- 城南3法人で立ち上げた「地域包括ケアプロジェクト会議」に参加し、論議に加わり11月に分野別のまとめが出されました。どの課題においても保健生協の存在意義を



ふれあいサロンで手芸の支援を(岩手県宮古市)

再認識させられる内容でした。

- うのき雪谷支部で「健康お食事班」、西品川支部で「三ツ木体操班」、中央池上支部「脳いきいき班」、海岸八潮支部で「脳いきいき班」ができました。
- 中央池上支部の日曜サロン、海岸八潮支部でのカラオケ交流会、大森糶谷支部での料理教室など組合員の集まる機会は増やすことができましたが、そこでの「新しい担い手づくり」の課題は残りました。
- 支部運営会議未開催支部の克服の課題については、重点2支部を決めましたが追求が弱く、開催することができませんでした。支部まかせにせず新しい「担い手」づくりの動きかけを組織的に強める必要があります。

(8) 学習会・活動交流集会

- 「認知症サポーター養成講座」「認知症とは」「社会保障」「地域包括ケア」「憲法学習会」などに取り組んできました。
- 9月に行われた「生協組合員活動と医療・介護交流会」は仲間増やし月間のステップの場として位置づけ、今回で6回目となりました。

(9) 経営活動と事業所の様子

- 2014年度は経営的には大きな赤字となりました。低い介護報酬、この間の薬価改定などの影響が大きいのが実態です。そんな中で、職員は奮闘し、すずらんでは、ヘルパー研修会、学習会などを頻繁に行い職員教育、質の向上に向けての取り組みを行ってきました。城南保健生協の介護職員の離職者は全国的な平均と比べて少なくなっています。
- グループホームでは、他のグループホームにはないボランティアのネットワークを広げて、入居者に喜ばれる取り組みを日常的にすすめています。また、2カ月に1度の「運営推進会議」では大田区、さわやかサポート、自治会長、民生委員にもご参加いただき、地域で支え合う体制を築いてきました。「家族会」では、ご家族の日常的な悩みなども出し合い、職員、家族との結びつきが強くなっています。

各委員会・分野別活動の特徴

保健予防・健康づくり活動

- 6月に第5回健康体操サポーター養成講座（9人受講）、7月にだれでもできる健康体操教室（11人受講）、10月～11月に第8回わくわくヘルスチャレンジ（65人チャレンジ）、3月には保健教室（科目ご



秋のバスハイクではみかん狩り



健康を願って（新春鎌倉ハイキング）

との申込者を含めて12人受講）などに取り組んできました。

- わくわくヘルスチャレンジは、取り組み自体をまちづくりとして位置づけ、支部ごとに構えて取り組んでいくことが課題でしたが、前進させることができませんでした。各支部活動と結びつけた取り組みが必要になります。

助け合い・まちづくり活動

- 定例の委員会は毎月開催。学習会は大田（1月・大田病院）と品川（2月・ゆたかの家）でヘルパーを講師に足浴の方法を学び、『足湯体験会』を行いました。
- 「大田病院ボランティア」は、入院患者さんに「足湯」を楽しんでもらうボランティアを毎月第2土曜日に開催しています。また、大田病院ひまわり音楽隊の要請を受け、会場設営・患者さんの会場への移動などのお手伝いを行いました。

くらしと平和の活動

- 社会保障分野の総改悪ともいえる情勢のため、まず、広く知らせるための行動として、毎月、理事会前駅頭宣伝行動を取り組んできました。「消費税引き上げ問題」「憲法改悪問題」「医療・介護総合法問題」などのテーマで行ってきました。バレンタイン宣伝行動はここ2～3年、天候に恵まれず、苦勞しながらの取り組みになっています。学習会の開催、署名行動などを位置づけました。

文化・スポーツの活動

- 委員会の定期開催ができました。
- 例年同様の取り組みを行ってきました。

文化活動

- 不定期開催であった委員会を定例で開催し定着することができました。
- 独自の行事としてはウォークラリー（2回）、バスハイク（2回）、新春鎌倉ハイキング、文化祭、駅伝フェスティバルを行い多くの組合員が参加しました。ダンスパーティーは日程と人員および会場の都合で開催できま

せんでした。

- 映画上映会、グリーンコンサートなどの実行委員会に参加し、成功のために大きな役割を果たしました。また、演劇・上映会のチケット普及を行いました。

機関紙活動

- 年11回機関紙「城南の保健」を定期発行しました。編集委員会を毎月定例で開催し、より充実した紙面にしていくため、話し合いをすすめてきました。
- 組合員さんとの交流ができる紙面づくりを行うことを目的としたパズルの掲載を検討し、2015年4月号より2カ月に1回、掲載することになりました。「たまご通信」や「かがやき事例」は20回を超える連載となりました。



ヘルパーさんに学んで「足湯体験会」を

2014年度 年間主要行事の取り組み

岩手県宮古市復興支援ボランティア	4月16日(水)	野口事務局、伊藤事務局
社会保障の解体を許さない集い	4月24日(水)	大田区生活センター 54人
国民平和大行進	5月7日(水)	品川～川崎
春の健康バスハイク	5月11日(日)	富士山～河口湖周辺 バス5台・235人
グリーンコンサート2014	5月16日(金)	大田区民プラザ 350人
第12回品川健康まつり	5月24日(土)	戸越公園 1,000人
健康ウォークラリー	6月1日(日)	品川大名屋敷跡ツアー 25人
「ペコロスの母に会いに行く」上映会	6月14日(土)	アプリコ大ホール 780人
なかしんまつり	7月19日(土)	大森中川端児童公園
医療・介護総合法学習会	7月22日(火)	大田区生活センター
東京南部生協池上センターまつり	7月26日(土)	購買生協との連携
全国鶴の木まつり	7月26日(土)	健康チェック
原水爆禁止世界大会	8月4日～6日	城南保健生協から子ども含め3人の代表派遣
城南ドルフィン夏季合宿	8月23日～24日	神奈川・桐花園 40人
こらぼ大森夏まつり	8月23日～24日	こらぼ大森 健康チェック
脳いきいき班会 インストラクター養成講座	8月30日(土)	品川中小企業センター 25人
2014ピースアクション報告集会	8月30日(土)	購買生協との連携
第6回生協組合員と医療介護交流 第8回	9月27日(土)	大田区生活センター
わくわくヘルスチャレンジ	10月1日～11月30日	スタート集会は9月20日
仲間増やし強化月間	10月1日～12月27日	
大田区生活展	10月4日～5日	骨密度測定・ころぼん体操他
西南ブロック福島連帯見学行動	10月11日(土)	44人
第30回大田・品川健康まつり	10月26日(日)	池上小学校 4,000人
秋の健康バスハイク	11月30日(日)	三保の松原とみかん狩り 99人
健康ウォークラリー	12月14日(日)	東海七福神 31人
新春鎌倉ハイキング	1月4日(日)	鎌倉 37人
第3回城南文化祭	2月7日(土)	大森スポーツセンター 114人
第5回駅伝フェスティバル	3月1日(日)	27組108人が完走
認知症サポーター養成講座	3月3日(火)	購買生協との連携
健康づくりの知識と技能 「保健教室」	3月4日～4月8日	8回講座
東京都生協連医療部会 活動交流集会	3月7日(土)	城南「よろず相談」の取り組み発表
反原発統一行動	3月8日(日)	日比谷・国会包囲